

令和7年度 特例の教育課程の実施状況報告

1. 学校・市町村概要 名護市立 真喜屋小学校

- ・教育目標：
●よく考える子
●思いやりのある子
●元気な子
- ・所在地 ●沖縄県名護市真喜屋571番地

・児童数

学年	小学校								中学校					小中計
	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	7	8	9	特別支援学級	計	
児童生徒	12	5	13	11	20	12	4	77						77
学級数	1	1	1	1	1	1	3	9						9

○名護市概要【人口】65,215人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

- 歌や遊びなどの活動を通して、英語特有の発音やリズムに慣れる。
- 間違いをおそれず、英語発音をまねし、進んで発話する。

3. 取組の工夫：教科等の系統性・連続性を踏まえた学習指導【系統図や指導計画の作成・活用】

【取組の工夫】

効果的な学びを実現するために、以下の3つの側面から指導の工夫が行う。

(1) 指導体制と連携

ALT(外国語指導助手)とのチーム・ティーチング(TT)を基本とし、事前の教材研究や情報交換を密に行うことで見通しを持った指導体制を構築する。

(2) 指導方法の最適化：

学習内容を繰り返し扱う「スパイラル」な指導を展開し、言語活動の明確化とともに、指導と評価を一体化させて進める。

(3) 必然性のある活動設計

単なる知識の習得ではなく、「相手意識」や「目的意識」を持たせた、コミュニケーションを図る必然性のある言語活動(やりとり、発表など)を設定する。

4. これまでの成果と課題、今後の取り組み

【成果】

- 外国語活動に対して興味・関心を持ち、意欲的に活動に取り組む姿が見られた。
- 自分のことを外国語で伝えたいという表現意欲をもつことができた。

【課題】

- コミュニケーションに積極的に関わろうとする態度に個人差が見られた。

【今後の取組】

- 歌や遊びなどの活動を積極的に取り入れ、英語特有の発音やリズムに自然に慣れ親しむ機会を創出する。
- 児童が「間違いをおそれず」、英語の音声を真似して進んで発話できるような雰囲気づくりを重視する。
- 児童が「自分のことを伝えたい」という意欲を持っている実態を活かした学習活動を練る。
- 外国語活動を通じて、国際理解や多様性の理解、思いやりの心を育む指導を、道徳教育とも関連付けて行う。